

# 社会福祉法人 太田福祉記念会 令和5年度事業報告

## 誓いの言葉

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

理念「誓いの言葉」の実現に向けた基本的な考え方を三本の柱として集約。取り組む方向を全職員に示し、感染対策を徹底しながら事業を実施した。

- ①職員の育成による質の高い介護サービスの提供
- ②地域福祉からのまちづくり参画
- ③計画的財務管理による健全経営の維持

## [1] 令和5年度重点事業プラン

### ◎経営戦術基本方針

「地域貢献事業の企画・実施」

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

「新型コロナなどの感染症対策スペシャリストの育成・配置」

### 1. きらきら人材育成事業（2,070千円・延207名）

(1) 人材育成プランによる研修（1,192千円・延150名）

- ① 新採用職員ガイダンス 受講者5名 令和5年4月3日
- ② 新採用職員研修（3カ月間・6回）受講者3名 令和5年4月26日～6月28日
- ③ 採用6年次研修（5カ月間・12回）  
受講者8名（指名研修）令和5年7月5日～令和5年11月1日

④ リーダー・リーダー補佐フォローアップ研修（3カ月間・8回）  
受講者9名（指名研修）令和5年11月15日～令和6年1月31日

⑤ 虐待防止研修（2回）受講者延125名（全職員）令和5年11月15日、29日

※②～⑤は専門の外部講師を招聘し開催。

(2) 外部専門研修等派遣（878千円・延57名）県内外38講座うちオンライン16講座

#### ① 感染症対策

- ・高齢者施設向け新型コロナ対策セミナー（オンライン）3名 令和5年4月18日
- ・高齢者介護施設等における感染対策（郡山市）1名 令和5年5月26日
- ・感染症予防と対策セミナー（福島市）2名 令和5年10月18日

## ② サービスの質向上

- ・短期専門研修「拘束しないケアへ」（オンライン）3名 令和5年6月21日
- ・介護福祉士実習指導者講習（郡山市）2名 令和5年7月8～9日、22～23日
- ・ユニットリーダー基礎研修（オンライン）1名 令和5年7月27～28日
- ・ユニットリーダー実地研修（二本松市）1名 令和5年8月22日～25日  
（二本松市）1名 令和5年9月5日～8日  
（宮城県）1名 令和6年2月21日～23、3月8日
- ・介護支援専門員企画力向上研修（二本松市）1名 令和5年7月28日、10月26日
- ・運転者適性診断（郡山市）1名 令和5年9月5日
- ・施設介護職員スキルアップ研修（郡山市）1名 令和5年9月15日
- ・苦情受付担当者研修（郡山市）1名 令和5年9月28日
- ・リスクマネジメントセミナー（二本松市）2名 令和5年10月13日
- ・食品衛生講習会（郡山市）2名 令和5年11月28日
- ・科学的介護情報システム（LIFE）研修会1名（オンライン） 令和6年3月29日
- ・ボランティア担当研修応用編1名（オンライン） 令和6年3月5日 ほか18講座

## ③ 職場環境改善

- ・ふくしまSDGs（\*1）推進セミナー（オンライン）3名 令和5年7月6日  
（\*1）Sustainable Development Goalsの略称。日本語に直訳すると「持続可能な開発目標」。
- ・DXソリューション（\*2）フェア2023（郡山市）2名 令和5年7月13日  
（\*2）デジタル技術を活用して業務プロセスの改善、組織風土の変革などを実現させること。
- ・週休3日制導入説明会（オンライン）1名 令和6年3月25日

## ④ 地域貢献事業研究及び被災地支援

- ・災害時協定書支援内容検討研修会、情報交換会（郡山市）1名 令和5年9月14日
- ・能登半島地震被災地へ介護職員派遣（金沢市）1名 令和6年1月24日～28日  
（金沢市）1名 令和6年1月28日～2月1日
- ・雪かきボランティア講習会（郡山市）1名 令和5年11月30日

## 2. 太田福祉記念会地域貢献事業

地域密着支援事業 除雪ボランティア（12年目）参加職員 10名

高齢者5世帯の除雪（湖南地区）

※生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業は、感染症予防のため中止。

## [2] 本部事業

### 1. 法人運営の安定化

#### (1) 感染症対策

新型コロナウイルス感染症は感染症法上「第5類感染症」に位置付けられたが、当記念会では、職員及び同居家族の体調不良時における出勤自粛要請や、制限付き面会を継続するなど、各種感染症から利用者と職員を守るための対策を実施した。

・新型コロナウイルス感染症対応の経過（抜粋）

年 月 日	内 容
令和 2 年	
1 月 8 日	感染症予防物品の管理、備蓄を強化（サージカルマスク、アルコール消毒液等）。
2 月 26 日	職員の研修会参加、利用者への面会、ボランティアの受入れなどを当面禁止に。
4 月 21 日	テレビ電話面会サービス開始。（現在も継続実施中）
6 月 22 日	両ホームで看取り介護利用者の面会体制整備、実施。
10 月 21 日	両ホームで BCP（*3）発動訓練及びゾーニング（*4）訓練を開始。
11 月 13 日	新型コロナウイルス感染症に関する職員の行動指針を策定・周知。
令和 3 年	
2 月 8 日	南会津郡内高齢者施設へ支援職員 2 名を応援派遣。
3 月 5 日	初めて職員 1 名が感染。
令和 4 年	
10 月 12 日	あたまホームで 5 名のクラスター発生（10 月 25 日収束）。
11 月 1 日	グリーンライフ小磯で 7 名のクラスター発生（11 月 14 日収束）。 ※BCP（*3）発動。太田小磯デイサービス等の職員を応援派遣。
11 月 4 日	太田デイサービスで 7 名のクラスター発生（11 月 22 日収束）。
11 月 17 日	太田玉川デイサービスで 12 名のクラスター発生（11 月 28 日収束）。
〃	玉川ホーム（南棟）で 26 名のクラスター発生（12 月 19 日収束）。
11 月 18 日	両ホームに陰圧室（各 1 室）を整備。
11 月 22 日	あたまホームで 8 名のクラスター発生（12 月 10 日収束）。
12 月 11 日	玉川ホーム（中央棟）で 109 名のクラスターが発生（翌年 1 月 26 日収束）。 ※BCP（*3）発動。太田玉川デイサービス職員を応援派遣。
令和 5 年	
2 月 1 日	職員へ感染症対応見舞金を支給。（209 名、6,270 千円）
5 月 8 日	新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「第 5 類感染症」に位置付け。
令和 6 年	
2 月 3 日	あたまホームで 77 名のクラスター発生（3 月 19 日収束）。
2 月 24 日	グリーンライフ小磯で 6 名のクラスター発生（3 月 15 日収束）。
	（*3）Business Continuity Plan の略。災害などの緊急時における企業の事業継続計画。 （*4）感染症の病原体によって汚染されている区域と、汚染されていない区域に区分けすること。病原体に汚染された人や物品の動きを制限でき、感染拡大の防止につながる。

(2) 管理職候補者の計画的育成及び中間管理職の適正配置

- ① 社会福祉施設長資格認定講習に 1 名派遣
- ② 太田小磯デイサービスセンターに副所長を配置（令和 6 年度から）

(3) 経費節減

- ① 全施設電気料 前年度比 使用量 0.4%減（▲6,336kwh）料金 135 千円減  
（料金は物価高騰前の令和 3 年度比 12,087 千円増）
- ② 全施設水道料 前年度比 使用量 2.3%増（+757 m<sup>3</sup>）料金 350 千円増  
（料金は物価高騰前の令和 3 年度比 8 千円増）
- ③ 全施設ボイラー燃料 前年度比 使用量 0.7%減（▲2,210ℓ）料金 304 千円増  
（料金は物価高騰前の令和 3 年度比 2,078 千円増）

#### (4) 公的助成制度の積極的活用（計 43,194 千円）

〔福島県〕社会福祉施設等物価高騰対策事業支援金 13,206 千円、地域医療介護総合確保基金事業補助金 961 千円、女性活躍・働き方改革支援奨励金 600 千円

〔郡山市〕ケアハウス事務費補助金 24,052 千円、結核予防事業費補助金 313 千円  
令和 4 年福島県沖地震に係る社会福祉施設災害復旧補助金 2,659 千円、介護保険の中山間・特別地域における訪問介護等利用料助成金 33 千円

〔福島労働局〕特定求職者雇用開発助成金 1,000 千円

〔独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構〕障害者雇用調整金 324 千円

〔東北電力〕節電チャレンジ達成奨励金 46 千円

#### (5) 生産性向上

##### ① ICT（\*5）化推進 企画調査班「心をつなぐコールシステムプロジェクト」

5 回開催、職員アンケート実施、メーカー説明、インカムと連動する機種を選定  
（\*5）Information and Communication Technology の略。通信技術を使い情報を伝達し活用する技術。

##### ② 利用料の口座振替（F-NET 代金回収サービス）導入

令和 5 年 3 月開始。集金に係る事務の効率化と現金事故のリスクを軽減。  
在宅サービス利用者の 80%超が利用中（令和 6 年 3 月現在）。

##### ③ ごみ置き場移設（あたまホーム）

建物から 45 メートル離れた場所にあったごみ置き場を建物脇に移設。移動時間の短縮及び雨天・積雪時における転倒リスク等を軽減し、労働環境を改善。

##### ④ 就業規則を改正し敷地内禁煙を明文化（令和 6 年 3 月 18 日施行）

#### (6) 環境美化

##### ① 熱海町内所在施設周辺のクリーンアップ大作戦（9 年目）参加職員 32 名

##### ② クマの目撃情報を基に、あたまホーム北側斜面のヤブを刈り払い

## 2. 有能人材の確保・育成

### ① 募集広報担当職員（介護職員）の育成

リクルーター（\*6）養成研修に介護職員 2 名を派遣

（\*6）新卒採用において「学生の相談に乗ったりサポートしたりする役割を担う人」をいう。

### ② 募集広報

・ハローワーク ・法人ホームページ掲載 ・職員へ人材紹介の協力要請

### ③ 募集活動

・ふくしま合同就職面接会参加（1 回） ・福祉のしごと相談会参加（1 回）  
・福祉の職場 WEB 説明会及び合同就職説明会参加（1 回）  
・介護労働安定センター実務者研修修了者就職説明会参加（1 回）  
・教育機関個別訪問（1 校） ・高校生徒のグループミーティング（1 回）

### ④ 正職員採用試験

事務員 2 名、介護員 7 名、調理員 4 名 計 13 名採用（うち内定者 4 を含む）

### ⑤ 介護職（正職員）の離職率

離職者 7 名・6.4%（前年度 4 名・3.6%） ※全国 14.4%

### [3] 特別養護老人ホーム

#### 1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

##### (1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・施設内ゾーニング（\*4）シミュレーション  
玉川ホーム 11回 延120名参加 あたみホーム 6回 延59名参加
- ・長期入所者の入所時PCR・抗原検査実施 玉川ホーム 61名 あたみホーム 26名
- ・短期利用者の入所時抗原検査実施 玉川ホーム延525名 あたみホーム 502名
- ・制限付き直接面会 玉川ホーム延434回 あたみホーム延271回
- ・テレビ電話による面会 玉川ホーム 延240回 あたみホーム 延107回
- ・新型コロナワクチン接種  
6回目（BA4-5対応） 玉川ホーム 職員81名、利用者137名  
あたみホーム 職員60名、利用者97名  
7回目（XBB対応） 玉川ホーム 職員76名、利用者152名  
あたみホーム 職員50名、利用者102名
- ・厚生労働省「感染対策実地研修」玉川ホーム 18名参加 あたみホーム 4名参加

##### (2) 国の科学的介護情報システム（通称 LIFE）の活用（共通）

- ・科学的介護推進体制加算算定  
玉川ホーム 168.5名/月（前年度166.9名/月）加算額合計1,011千円  
あたみホーム 101.0名/月（前年度102.0名/月）加算額合計606千円
- ・上位の褥瘡マネジメント加算算定  
玉川ホーム 151.7名/月（前年度150.8名/月）加算額合計236千円  
あたみホーム 91.8名/月（前年度91.5名/月）加算額合計142千円

##### (3) 食事の経口摂取維持への支援（共通）

- ・経口維持加算算定  
玉川ホーム 44.5名/月（前年度41.9名/月）加算額合計2,140千円  
あたみホーム 27.2名/月（前年度38.4名/月）加算額合計1,308千円
- ・太田熱海病院歯科医師等による口腔衛生管理に係る技術的指導  
玉川ホーム 1回 9名参加 あたみホーム 1回 2名参加

##### (4) 看取り介護体制の充実・強化（玉川ホーム）

- ・看取り介護加算  
玉川ホーム 17名（面会延254回） 加算額合計1,121千円（前年度19件）  
あたみホーム 0名（前年度1件）

##### (5) 個別機能回復訓練（ショートステイ）の充実（あたみホーム）

- ・個別機能訓練加算算定 26.9名/月（前年度29.1/月）加算額合計967千円

##### (6) 身体拘束廃止への取り組み（共通）

- ・身体拘束廃止人数 玉川ホーム 17名中7名 あたみホーム 9名中3名

(7) 施設内事故再発防止への取り組み（共通）

- ・郡山市介護保険課への事故報告書提出件数  
玉川ホーム 4 件（うち骨折 3 件） あたみホーム 11 件（うち骨折 7 件）

## 2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	長期入所者数（稼働率） ※下段は 5 年度当初目標	短期入所者数（稼働率） ※下段は 5 年度当初目標	介護	
			介護	介護予防
玉川ホーム	161.2 名/日 (94.8%)	17.3 名/日 (86.5%)	17.3 名/日	0.0 名/日
【定員 長期 170 名 短期 20 名】	163.5 名/日 (96.1%)	17.0 名/日 (85.0%)	16.9 名/日	0.1 名/日
あたみホーム	96.9 名/日 (96.9%)	17.8 名/日 (84.7%)	17.6 名/日	0.2 名/日
【定員 長期 100 名 短期 21 名】	96.5 名/日 (96.5%)	17.0 名/日 (80.9%)	16.5 名/日	0.5 名/日

(1) 稼働率の向上（共通）

- ・玉川、あたみ両ホーム合同入所検討委員会 5 回

(2) IT機器を活用した業務の効率化（共通）

- ・「神の手介護ネットワークプロジェクト」メンバーによるインカム）操作伝達講習  
玉川ホーム 延 10 回 あたみホーム 延 17 回
- ・各職種の業務日誌電子化の推進及び進捗状況の点検（あたみホーム）  
生活支援システム活用推進会議 12 回。介護、看護、生活相談、庶務の各日誌を「業務日誌」としてひとつにまとめた上で電子化し、作業効率を向上。

(3) 在宅高齢者の緊急時の宿泊ニーズに対応（あたみホーム）

- ・緊急短期入所受入加算 1 名（前年度 2 件）加算額合計 6 千円

## 3. 職員の育成

(1) 新採用職員教育の充実（共通）

- ・がんばっぺ職場研修（介護職にプリセプター（\*7）を配置、4 カ月～12 カ月）  
玉川ホーム 対象職員 3 名 あたみホーム 対象職員 1 名  
（\*7）先輩職員が新人職員をマンツーマンで指導やフォローをすること。

(2) 福島県喀痰吸引等実地研修（玉川ホーム）

- ・介護職員による痰の吸引等のための研修事業を実施。  
玉川ホーム 1 名受講 あたみホーム 1 名受講（令和 5 年 12 月 7 日～28 日）

(3) 内部研修会の充実（共通）

- ・第 20 回法人全体研究発表会 令和 6 年 2 月 28 日（オンライン開催）

## [4] ケアハウス

### 1. 健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	入居者数（稼働率） ※下段は5年度当初目標	1人部屋	2人部屋
		グリーンライフ小磯 【定員30名】	24.5名/日（81.6%） 28.0名/日（93.3%）

#### (1) 新規入居者の確保及び施設のPR

- ・新規入居者数4名、退居者数4名（前年度新規入居者数8名、退居者数5名）
- ・近隣市町村地域包括支援センターPR活動（空床情報提供、パンフレット配布）19カ所実施

#### (2) 介護予防の推進

- ・運動器訓練等を行う元気クラブ（6月、7月、11月、12月）40回  
延343名（1回あたり平均8.5名）
- ・入居者の希望を取り入れた行事やグループ活動の実施  
ショッピング18回 延36名 地域文化祭展示作品作成3名参加

### 2. 入居者の生活環境改善

#### (1) 感染防止対策

- ・施設内ゾーニングシミュレーション 1回 4名参加
- ・入居時のPCR、抗原検査実施38名
- ・ワクチン接種（6回目、7回目）職員延22名 入居者延39名
- ・果物や日用品等の購入機会を提供 移動販売車招聘41回 延498名利用

#### (2) 入居者懇談会 「希望調査」2回 「ケアハウスでの生活について」1回

#### (3) サービス担当者会議 計画どおり開催 26回（入居者1人あたり1回）

## [5] 在宅の介護・支援サービス

### I. デイサービス

#### 1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

##### (1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・新型コロナウイルス感染症防止研修会  
太田デイサービス 2回 延17名 太田玉川デイサービス 3回 延24名  
太田小磯デイサービス 5回 延57名（利用者含む・手洗いチェッカー使用）

##### (2) 自立支援と認知症進行防止（太田デイサービス）

- ・手足の可動域を広げるための太極拳体操 300日実施 延4,699名参加
- ・職員による体を動かしながら楽しめるレクリエーションの開発  
コロコロカーリングゲームなど310日実施 延5,600名参加

(3) 自立支援を意識した取り組み（太田デイサービス）

- ・朝食提供による生活支援 実利用者 6 名 延 558 食
- ・レスパイトケア（\*8）を目的とした利用回数増 週 1 回増 5 名 週 2 回増 5 名  
（\*8）介護を行っている介護者に、一時的な休息や息抜きを行う支援のこと。

(4) 自立支援と認知症進行防止（太田玉川デイサービス）

脳の活性化を目的とした活動	生活機能維持向上を目的とした活動
貼り絵の制作 34 回 季節の飾り作り 42 回 クイズ、塗り絵、計算ドリル等 186 回	上下肢及び口腔体操（集団） 252 回 レクリエーション活動 233 回 個別の機能回復訓練 延 1,825 名

- ・取り組みをとおして ADL の状態の維持、向上が見られた利用者  
59 名中 53 名（維持 43 名・向上 10 名）

(5) 認知機能の低下防止（太田小磯デイサービス）

- ・昔の思い出などを語り合う「回想法」を取り入れたレクリエーション  
12 回 実利用者 48 名
- ・季節に合わせた工作レクリエーションで巧緻性の向上と認知機能の低下を防止  
6 回 実利用者 52 名

## 2. 健全な財務体制の確保

事業所名	営業日数	利用者数	※下段は 5 年度当初目標			実利用者数	
			介護	総合事業	認知症		うち新規
太田デイサービスセンター 【定員 30 名】	310 日	18.1 名/日 23.5 名/日	14.8 名/日 19.2 名/日	3.3 名/日 4.3 名/日	-	72 名	15 名
太田玉川デイサービスセンター 【定員 37 名】	257 日	20.4 名/日 25.5 名/日	16.4 名/日 18.6 名/日	3.1 名/日 4.9 名/日	0.9 名/日 2.0 名/日	77 名	26 名
太田小磯デイサービスセンター 【定員 18 名】	257 日	15.8 名/日 16.3 名/日	13.5 名/日 13.4 名/日	2.3 名/日 2.9 名/日	-	66 名	14 名

## II. ホームヘルプサービス

### 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数	※下段は 5 年度当初目標				実利用者数	
		熱海		小磯分室			うち新規
		介護	総合事業	介護	総合事業		
太田訪問介護事業所	11.7 名/日 14.0 名/日	7.6 名/日 9.6 名/日	3.9 名/日 4.4 名/日	0.0 名/日 0 名/日	0.2 名/日 0 名/日	50 名	18 名



### Ⅲ. 居宅介護支援サービス

#### 質の高いケアプラン作成と収支バランスのとれた財務体制の維持

##### (1) 質の高いケアプランの作成

- ・退院調整によるサービス計画作成 55 件（前年度 50 件）

##### (2) 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
太田指定居宅介護支援事業所	131.5 名/月（当初目標 160 名/月）

- ・退院退所加算 51 件（前年度 49 件）加算額合計 250 千円
- ・入院時情報連携加算 57 件（前年度 50 件）加算額合計 108 千円
- ・ターミナルケアマネジメント加算 4 件（前年度 2 件）加算額合計 1 千円
- ・通院時情報連携加算 6 件（前年度 4 件）加算額合計 30 千円
- ・市町村等から依頼された介護認定調査 78 件（前年度 5 件）委託料合計 295 千円

### Ⅳ. 地域包括支援サービス及び介護予防支援サービス

#### 1. 地域に根ざした包括的なサービスを提供

##### (1) 地域高齢者の介護予防推進

- ・介護予防教室 14 回開催（1 月～3 月）参加者 148 名（前年度 71 名）  
赤津地区 4 回開催 参加者 47 名  
舟津地区 6 回開催 参加者 63 名  
福良地区（湖南町社協共催） 6 回開催 参加者 38 名

##### (2) 認知症のある方やそのご家族が、なんでも相談できる場を提供

- ・小磯カフェ「まざっせ」10 回開催（4 月～2 月）参加者 51 名（前年度 23 名）  
音楽体操、園芸活動、茶話会、脳トレーニング、健康講座、健康体操等実施

##### (3) 若い世代への福祉教育 実績 1 回

- ・認知症サポーター養成講座（10 月）湖南高校 2・3 年生 12 名

##### (4) 地域包括ケアシステムへの対応

- ・湖南町の地域ケア会議（圏域会議）1 回

#### 2. 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	69.0 名/月（当初目標 90 名/月）